

# すすらん

題字 小川 東州

JAICO

第100号

(通算140号)

2023年5月発行

●すすらん100号記念に寄せて

○桑原協会副会長

○林北海道支部長

○松山北海道支部前支部長

●支部活動を支えてきた会員様より

●乙坂前事務局長より御挨拶

●支部幹部よりすすらん・支部活動の思い出

●すすらんと歩む支部の歴史

●懐かしの掲載コーナー

●歴代広報部長のリレーメッセージ

●自主学習会より

●各部からのお知らせ

○会員研修



支部発祥の地  
ストークマンション

朝日を浴びるNCO札幌ホワイトビル

# 北海道支部の歴史と「すずらん」について

この度はすずらん100号記念を感慨深い思いで受け止めております。

すずらんの思い出と併せて、少し北海道支部の歴史も書かせていただきます。

協会は、本年度で63年の歴史を迎えました。

私が当協会に関わったのは1993年位で、北海道は地域活動として札幌分会と旭川分会という2つの組織が個別に活動を行っていました。

1992年「産業カウンセラー」が労働省の技能認定資格になり、組織的には様々な改革がなされた時代でした。

1995年には、札幌分会でも通信コースのみであった「産業カウンセラー養成講座」の通学コースが始まり、多くの受講者を迎え、2000年に会員数が増加し札幌部会となりました。(会員数100名以上になり)広報誌「すずらん」の発刊は、そのような時期でした。当時の広報部長の二本柳氏が、当時のNHKの朝ドラ「すずらん」の題辞を書かれていた小川先生から御許可をいただき、題辞としてその名前を使わせていただきスタートしました。その後2002年には、第33回産業カウンセリング全国研究大会を130人の会員数で実施し、その時大会前の定例、臨時広報、情報伝達として大活躍してくれたのが「すずらん」でした。因みに現支部のテーマ「生きることと働くこと、豊かに働き、豊かに生きる」はその時の全国研究大会のテーマです。

その後組織改革も進み、2003年に北海道支部(札幌部会・旭川分会合併)が誕生しました。

会員数も増え、現在の組織の礎となりました。

この間で個人的に特に印象深いのは、マンションの1室から会議室も併設した現事務所への移設、また、長年のメンタルヘルス対策活動の評価を得て、厚生労働省から全国初の民間委託された「メンタルヘルス支援センター」開設です。その時々「すずらん」が会員や対外的なPRを続けてくれ、支部を支えてくれました。

また、北海道の支部報は一度も休刊しないということでも全国的にも定評があり、各広報部長、部員、幹部の皆様の努力でなされたことも誇らしく思います。

今回は会員、幹部、支部の職員の方のお力で100号を迎えることになり、心よりうれしく思います。ここで「すずらん」を振りかえりながら、皆様と産業現場での「心の専門家」「人生の伴走者」としての産業カウンセラーの責任と役割を果たし、地域での社会貢献を果たすべく進んでまいりたいと新たな決意を抱きました。



一般社団法人  
日本産業カウンセラー協会  
副会長  
桑原 富美恵

# 「支部との関わり」「すずらん」の思い出

「会報誌すずらん100号発行」という記念すべき時に、偶然、支部長として立ち会わせていただけたことに感謝申し上げます。

前身である札幌部会の「すずらん」を受け継ぎ、支部設立の第1号発刊から一度も休むことなく続いてきたことは北海道支部の誇りであり、歴代の支部長・広報部長を中心に、多くの会員の皆様の協力があってこそその結果と受けとめております。

このことは会員一人ひとりが産業カウンセラーとして、互いを尊重し成長を助け合い活動する基盤となり、人と人がつながり支える北海道支部のあり方そのものに他なりません。

さて、私と「すずらん」とのかかわりは、北海道支部が誕生した時に始まりました。当時、旭川在住の運営協議員の一人として「地方の声を札幌に届けなければ…」と勝手な使命感で支部活動に加わりましたが、実際に出来るのはほんの些細な事ばかり。

それでも多くの方から「ありがとう」「助かるよ」「頑張ってるね」等、なんのてらいもなく伝えられる一言ひと言が、自分の存在意義を認め、自分らしくあることを肯定的に受け入れられるきっかけとなりました。

あれから20年。会報誌「すずらん」は大きな役目を終えますが、「人と組織をつなぎ支える」活動の一役を担う新たな情報発信へと進化させて参ります。どうぞご一緒に。



一般社団法人  
日本産業カウンセラー協会  
北海道支部  
支部長 林 美幸



# すずらん100号記念に向けて



一般社団法人日本産業カウンセラー協会 北海道支部 前北海道支部長 松山 翰吉

これまで、広報担当された皆様おめでとうございます。

2015年から4年間支部長を務めさせていただきましたが、費用節減の渦中であって、そのご苦労思い余るものがあります。2018年全国大会開催の2年前から参加人数1000人を目指し広報活動を企画しましたが、グランドデザイン、実行スケジュール作成はその都度進化し、段取りでは議論沸騰の楽しい日々でした。

私個人としては、道民の心の支えである倉本聰先生へのコネなしの直接講演依頼が成功し、その後富良野アトリエで面談し、その真っすぐな飾り気のない人柄に触れられたことは生涯の思い出となりました。又日本で最初にワーク・エンゲイジメント理論を提唱され、今やメジャーとなられた島津明人先生に桑原理事(当時)と共にお会いし、講演を快諾頂いた事も大切な思い出です。



オンネトー湖の夏:Photo:K.matsuyama

大会当日のシナリオ作りに微に入り細に入り検討し、無事開催に至りほっとしました。私は昨年秋、大好きな札幌から相模原市に健康上の都合で転居いたしました。これからWEB上で北海道支部の力溢れる活躍を拝見いたしますが、益々のご発展を祈念申し上げます。



## 支部活動を支えてきた会員様より



北海道支部報「すずらん100号」発行おめでとうございます。

私は2000年1月に産業カウンセラーの資格をいただき、翌年3月に函館の情報通信会社を早期退社となり同グループ会社の札幌で再就職となりました。

2001年4月に札幌部会に入会させていただき、微力ながら養成講座、事業推進、会員研修等と札幌部会並び支部活動に参加をして参りました。

2003年7月25日に北海道に分散している札幌部会、旭川分会等の組織が一緒に力を合わせ活動していくために、全国大会北海道大会を開催し、「日本産業カウンセラー協会北海道支部報すずらん第1号」を発刊しました。

この度、支部報で「すずらん100号発行の特別記事」をもうけると聞き、初版発行より19年間の長期間に渡って記事の収集・編集・発行にご尽力をいただいている広報部の皆様には感謝を申し上げますと同時に、北海道支部の益々の発展をお祈りしたく投稿させていただきました。

これからも新しい情報の発信をHP等で楽しみにしています。

札幌市 大嶋 弘 道様

2004年に旭川分会と札幌部会が統合され、新たに北海道支部となってから早くも20年近くの時が流れました。旭川分会はその後、細々とではありますが会員が相互に課題を出しながらの研修機会を持っていましたが、月日の流れの中で、ただの飲み会に・・・それでも、顔を合わせての会は楽しいひと時でした。

統合されてから発行された広報誌「すずらん」が今回で100号!

研修機会の提供や、講座のお知らせなど毎回楽しみに読ませていただいております。「すずらん」と北海道支部のさらなるご発展を祈っております。

旭川市 中島 智子様

私は、1998年に資格を得た後、2001年から研修、監査、相談事業部などの役員を経験してきました。仲間との触れ合いを楽しみつつも時間に追われストレスフルの時もありました。

2017年に役員を退任する頃に、カウンセラーが互いにスキルを高め合うためのキャリアコンサルティングの自主学習会が必要と考えました。発足の初期から小松さんが運営を担当してくださり、今年は6年目を迎えます。目標に向かって皆さんが積極的に研鑽し合っています。興味のある方はいつでもお申し出ください。お待ちしております。

札幌市 清水 良子様



## 支部活動を支えてきた会員様より<sup>その2</sup>



すずらん100号おめでとうございます。

平成13年、支部認定カウンセラーとして活動し、同20年から養成講座に関わりました。当時のことを思い描きながら懐かしく感じています。平成20年、初めて実技指導者として迎えた開講当日、父の訃報が届き、釧路行き列車に飛び乗ったのを覚えています。講座修了日に14名の受講者さんから頂いた「かわいいAチーム」一同よりと書かれた手作りメッセージ、今でも私の宝物です。

釧路市 井澤 敦子様

今から10～12,3年前のことだが、9月10日の『世界自殺予防デー』にあたり、支部では有志が前日の正午から札幌駅前通りで連合北海道とタイアップし、通行人にティッシュを配付、翌日から3日間無料で電話相談を受ける旨PR。

その日も昼間PRし、家で夜7時のNHKニュースに東京の新橋駅前で当時の安藤七重理事長自らマイクを握って自殺予防の無料電話相談を道行く人々に呼びかけている姿を放映。トップ自ら先頭に立っている姿勢に感動した。

近年は電話を受ける件数が減少しているが、世の中にもっと知れ渡ったら・・・と思う今日この頃である。

札幌市 宮本 克郎様

### 素敵な仲間との出会い

平成19年、私が50歳を目前に今後について悩んでいたころ、「産業カウンセラー養成講座」の門をたたきました。

「自己研鑽」などとかっこいいものではなく、自分の悩みを解決する糸口をさがすことが目的でした。そのため、実技講習では自己開示に努め、素直な自分に驚きました。素敵な仲間もでき、勉強がこれほど楽しく充実したものとは、特に、講義後の『自主研修』（アルコール含む）は盛り上がり、あっという間の学生時代でした。

取得後、旭川地区の勉強会に参加することとなり、幸運なことにその後の人生の幅を広げる出会いに恵まれました。その中のお一人に、歌人の西勝洋一先生がいらっしゃいました。「自らを常に〈未完〉とおもうべし澄し水辺のわがナルキソス」

残念ながら、昨年鬼籍に入られましたが、先生のアツい思いを感じつつ、また『自主研修』に邁進したいと心に誓っております。

旭川市 竹森 秀樹様

## 乙坂前事務局長よりご挨拶

今まで支部活動・すずらん発行にお力添え頂きました乙坂前事務局長よりお言葉を頂きました。

私事ですが、平成25年3月に入社して今年でちょうど10年を迎えました。

支部規程で定年を迎え5月で退職いたしました。その間先輩諸氏には大変お世話になり、厚く御礼申し上げます。

広報すずらんもこの10年間でカラー化にしたり、回数を見直したりで様々な変化を遂げました。発行に際しての事務作業は事務局職員・広報部が中心となっており、今思うと懐かしい作業風景が思い起こされます。

これからは時代に則した新たなツールで、会員さんへの情報配信を継続していくことを祈念いたしましてご挨拶に代えさせていただきます。



# 運営幹部からの「すずらん」の思い出(敬称略)

日頃、支部活動に尽力している支部幹部より支部活動やすずらんでの思い出等のお話を伺いました。

会員の皆さま、日頃より支部業務へのご支援、感謝いたします。この度すずらんの100号記念号が発行となりますが、数多くの諸先輩から、時々熱い思いを寄せていただいた積み重ねと、改めて深謝申し上げます。

今後、すずらんのあり方も時代の流れに応じて変化していかざるをえませんが、皆さまとのコミュニケーションツールとしての役割は、これまでも増して大きく必要となるものと思います。皆さまと支部が一体となり、双方向の良好な関係を構築していけるよう、支部一同、力を合わせて努力して参ります。

引き続き、ご支援・ご協力のほう、よろしく願いいたします。

副支部長兼養成講座部長 **大塚 功喜**

「すずらん創刊100号」おめでとうございます。

多くの情報が盛り込まれた広報誌「すずらん」は、学ぶきっかけや、様々な情報が得られる、貴重な情報誌でした。

北海道支部の運営に携わるようになり、広報誌「すずらん」の発刊には、多くの方のご尽力によって、長きに亘り、繋がられてきたことを知り、あらためて、この情報誌のありがたさを感じました。

情報の伝え方が変化してきた今、支部と会員を結ぶ「すずらん」が、違った形になっても、末永く続いていくことを願っています。



副支部長 **立花 純子**

すずらん100号おめでとうございます。毎回ありがとうございました。

発刊の頃から多くの会員への情報提供の役割や、会員同士のリレー投稿等、相互の気持ちを繋ぐ「すずらん」でもありましたので、手元に届くことが楽しみでした。情報のあり方は大きく変化し、瞬時に多くの情報を得られるようになりました。産業カウンセラーは相手と向き合い理解しながら、その方の自分らしい問題解決にじっくり寄り添う役割があると考えています。社会や情報の大きな変化のなかにあっても、私たちは支部が大切にしてきた相互の繋がりと、産業カウンセラーとしての自分らしさを大切に生きたいものです。

これからのすずらんに期待しています。

事業推進部長 **山村 弘美**

広報誌「すずらん」の100号達成、おめでとうございます。

会員になったものの北海道支部がどんな団体かよく分らなかった私に、定期的に届く「すずらん」は様々な活動実態を教えてくださいました。

肖像権にうるさくなかったあの頃、よく載った各種講座の開講・修了写真にチャレンジ意欲を刺激されました。色付・別刷りで注意喚起効果をねらった会員研修一覧は、保存もしやすく、大いに活用させていただきました。

今、活動内容を説明する側になり困らないのは、その理解を深め研鑽の背中を押してくれた「すずらん」(携わる広報部の皆様)のお陰だと思います。媒体形式が変わっても、支部と会員をつなぐ役割を果たして下さるようお願いしております。

相談事業部長 **濱中 良子**

すずらん100号の発行おめでとうございます。

例えば産業カウンセラーの資格をなんとか無事に取得し、その後の研鑽について「さて、どうしよう…」と思っていた私にとって、すずらんから発信される支部の情報はとても貴重で重要なものでした。その縁もあって、現在協会の運営にも微力ながら携わらせていただくことになり、過去には想像もしていなかった現在の自分の姿に繋がっています。

時代の流れに沿って、役割を終える「すずらん」に改めて「ありがとう」と「お疲れさま」の言葉を贈りたいと思います。



CC講座部長 **北畠 里美**

すずらん100号おめでとうございます。

皆さんの活動を拝見してとても励みになっておりました。

私が支部に関わらせていただくことになったのは、2015年の指導者インターン生になった頃から、同期が幹部だったりしたので、少しずつお手伝いをするようになったのがきっかけだったと思います。

尊敬できる先輩方から、直接ご指導頂ける機会が増えたことが一番の宝ですね。まだまだ微力で、勉強するのみですが、すずらんが会員の皆様を結びつけたように会員部もリアルな輪を繋げていけるように尽力して参りたいと思います。諸先輩のすずらんの100号のバトンに感謝申し上げます。

会員部長 **宗原 薫**



# 一般社団法人 日本産業カウンセラー協会 北海道支部のあゆみ



1960 1970 1991 1995 1998 2000

2001

2003 2004

2007 2010 2012 2013 2014

2015

2016 2018

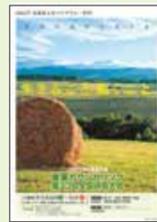
2019 2021 2022 2023

## 北海道支部

本部常務理事会申請し承認され、札幌部会移行する  
札幌分会・旭川分会として活動  
全国統一養成通学講座始まる



分会誌としてすずらん1号発行



全国研究大会北海道プログラム

北海道支部誕生  
全国研究大会北海道開催



広報誌としてすずらん1号発行

すずらん分会誌から  
通算100号  
会員部発足



道自殺対策受託事業開始



全国研究大会イン北海道開催



桑原理事(現本部副会長)  
厚生労働省北海道労働局長  
功績賞受賞

広報部すずらん通算100号

歴代支部長

樋口  
分会長

桑原  
分会長

桑原部会長

桑原支部長

永井支部長

山村副支部長  
(支部長代行)

松山支部長

林支部長

## 日本産業カウンセラー協会

日本産業カウンセラー協会創立  
労働大臣許可により社団法人化  
労働省技能審査に認定  
産業カウンセラー試験が

厚生労働省の技能審査が廃止  
民間資格に移行  
シニア産業カウンセラーの2種類へ  
廃止され、産業カウンセラー、  
の区分初級、中級、上級が  
産業カウンセラー試験  
の区分初級、中級、上級が  
廃止され、産業カウンセラー、  
シニア産業カウンセラーの2種類へ

「働く人の電話相談室」開始 連合協力  
自殺予防ダイヤル  
創立50周年・協会ロゴマーク改訂  
一般社団法人移行



改定新ロゴマーク

国家資格  
キャリアコンサルタント  
養成講習開始

「心の健康アドバイザー認定講座」開始  
プライバシーマーク(Pマーク)取得  
北海道より桑原理事が  
協会本部副会長に就任  
産業カウンセラー養成講座  
P-marketing制開始  
SNSカウンセラー養成講座開始

## 世の中の動き

1995年1月  
阪神・淡路大震災  
1989年1月  
新元号『平成』に改元



神戸震災慰霊碑

2001年9月  
アメリカ同時多発テロ



ニューヨークグランドゼロ



ヨルダンアンマンの廃墟

2003年3月  
イラク戦争開始



政権交代(イメージ)

2011年3月  
東日本大震災  
2009年8月  
非自民中心とする民主党政権



東日本大震災 釜石の被災地



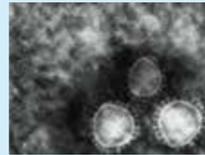
熊本城復興に向けて

2016年4月  
熊本地震



北海道胆振東部地震 厚真町の大規模な崖崩れ

2018年9月  
胆振東部地震



新型コロナウイルス

2022年2月  
ロシアのウクライナ侵攻  
2021年7月  
東京オリンピック開催  
2020年  
新型コロナウイルス流行  
2019年5月  
新元号『令和』に改元

和暦  
年号

昭和

平成

令和



# 懐かしい!! こんなコーナーありました!!



すずらんの長き歴史の中で様々なコーナーが誕生しました。皆さんの心に残ったコーナー記事はありますか？

## リラックスタイム(1号から)

発刊号から、長きわたり掲載されたリラックスタイム。当初は編集者のほか、会員以外の方からの記事や時節のイベントなどの紹介もあり、会員の皆様がリフレッシュできる情報を発信してきました。

後半には、薬膳や気功など健康に関する話題やクイズなどを掲載し、会員の皆様に楽しんでいただけた紙面として掲載してきました。



## レディネス通信(19号から)

北海道支部認定カウンセラーを目指す方々の研鑽を紹介しました。合格報告も含め、更なる学びの重要性やこの後に続く次期認定カウンセラーを目指す方に、指針を示すことができた記事が続いておりました。



## 旭川レポート(3号から)

旭川分会から、ご尽力頂いている方々からの旭川での活動や日々の暮らしの中で思うことなど綴っていただくコーナーです。以前、分会のあった地区ならではの思いの丈などを掲載してきました。



## 会員のこえ(声)(1号から)

北海道支部の会員様より、寄稿頂くコーナーで発刊から断続的に続いてきました。当初は、会員それぞれの支部活動に関する考えや思いなどを綴って頂く内容から、近年は研修等の参加レポートも多くなり、会員の皆様がやっている研鑽意識の向上にも役立つ内容になってきました。



## メンタルヘルス対策センター便り(49号から)

平成23年より開始された、厚生労働省からの北海道のメンタルヘルス対策に関する活動内容や、メンタルヘルス対策における啓蒙活動、我々産業カウンセラーとしての役割など、地に根を張ったセンター事業の必要性を紹介してきました。

## 賛助会員様のメンタルヘルス対策をご紹介!(70号から)

当支部で加入された賛助会員企業様に、社内におけるメンタルヘルス対策に対する取り組みや、当協会へのサポート希望や産業カウンセラーに期待することなどを綴って頂き、賛助会員企業様の企業PRも含め掲載してきました。



## 私の好きな場所(2号から)

人それぞれお気に入りの場所があるかと思えます。そんな自分の思入れのある、居て楽しくなる、ほっとする、癒される等そんなとっておきのロケーションを紹介。その中での実体験、心に残る出来事なども綴っています。雄大な自然が広がるフィールドから、街の喧騒響く所から、ちょっとした安らぎを感じるお店まで津々浦々と掲載してきました。



## 全国研究大会実行委員会だより(78号から)

第47回全国研究大会in北海道を成功に導くために活動する実行委員会の「人」「取り組み」「情熱」を記事に載せて紹介していくコーナーです。実行委員紹介やキックオフミーティングの案内、ボランティアスタッフの募集、交流会でのイベント紹介など多岐に渡り、大会開催まで情報公開してきました。



## キャリアコンサルティング自主学習会(78号から)

会員の研鑽の場として生まれた自主学習会。その中で、今も続いているキャリアコンサルティング自主学習会「ほっかいガンバ」の活動を紹介。月1回の学習会での活動報告や会への参加願い、スケジュールなども掲載し、気軽に参加できる研鑽の場としてアピールしながら現在も継続中。



## 産業医の独り言(34号から)

専門家としての産業医目線で、事例や学術での報告などをわかりやすく紹介。職場のメンタルヘルスに対する重要性の啓蒙や法的な見解なども取りまかせて、我々産業カウンセラーとして担う役割の必要性の拡大も促す内容でした。





## 歴代広報部長のリレーメッセージ (敬称略)



北海道支部が20周年を迎え、その会報誌「すずらん」も100号に達するのですね。曲がりなりにも「すずらん」を立ち上げた者としては、感慨深いものがあります。

昨今のデジタル時代ゆえに、今後は支部ホームページに吸収合併されて、紙媒体としての会報誌はなくなるのだとか。「時代だから」とは言え、「紙」にこだわる生き方をしてきた世代としては、残念で仕方ありません。「すずらん」という題字もなくなるでしょう。

どんな題字にするか。話し合いの中で決まったのが、北海道を代表する愛らしい花「すずらん」でした。当時、札幌に住んでおられた書家小川東洲氏(昨年、94歳で死去)にその揮毫をお願いしました。小川氏は、米・ハーバード大学に客員教授として招かれていた時、留学されていた現皇后陛下雅子さまを教えたことでも知られた方です。

その後の私自身而言えば、支部での活動やカウンセラーとしての役割からすっかり離れてしまいましたが、「すずらん」という題字の存在がかりげに産業カウンセラー協会と繋がっている“証し”だったように思います。

北海道支部が、全国の支部をけん引するような活動をされていくことを祈っております。

二本柳 貴 夫



産業カウンセラーの資格取得後、支部の業務をお手伝いさせていただくこととなり広報部に所属しましたが、活動のノウハウもない中でホームページの見直しに着手し、会員へのお知らせや支部の活動状況、カウンセラー養成講座、各種の研修案内のほか、広報誌「すずらん」の一新と掲載、関連情報へのリンク等、今では当たり前のごとの構築が難しく、業者に職場まで何度も足を運んでいただいて打ち合わせをしたことを覚えています。

また、広報誌「すずらん」のリニューアルでは、同時期に部員だった田崎さんと時政さんに随分とご協力いただきましたが、「すずらん」の字体は次の世代に引き継ぐこととし、そのままさせていただくことにしたことを記憶しています。

拙いところからスタートした広報誌「すずらん」と支部のホームページですが、今では目を瞠るばかりの充実ぶりにただただ感心するとともに、嬉しさを感じています。

佐 藤 篤 輝



皆様、こんにちは。こうしてすずらんの原稿に向かうのは何年ぶりでしょうか…

私は縁あって2007年から広報部に携わせていただきました。

あの頃は今のようにSNSも発達しておらず、ほとんどがアナログ作業。載せる内容を決め、原稿を募集するのですが手を挙げていただける方はほとんどなく、広報部内で回したり、または各部の部長さんをお願いしたり。研修でたまたま隣の席になった方をお願いしたり、それでもダメな場合は自分で書く(笑)。

入稿後は、印刷会社の担当さんと、ここを修正、あれを追加と夜遅くまで打ち合わせをし、やっと印刷されて出来上がった次は封入。一枚一枚封筒に入れ、宛名を貼りとなんとも地味な作業で手はカサカサでした。

これもほぼ幹部会の前とかに皆さんをお願いした記憶があります。発送してやれやれ一段落…もつかの間、すぐ次のすずらんに取り掛からなくてはならず、ほぼ1年がこんな感じで過ぎていきました。

あの頃、原稿や封入等、無理をお願いした皆様、本当にありがとうございました。皆様のお力なくてはとてやっつけませんでした。

今後広報誌も変わるとの事。どういう風になっていくかととても楽しみにしています。

赤 川 素 子

100号達成万歳!広報がどういったものかも分からぬ素人で部長になってしまいました。デザインのプロ、原稿作成や写真撮影のセミプロ?など部員の皆さまに助けられ、69号で構成を変え、71号でカラー化、2015年にはホームページもリニューアル、そしてなんとといっても全国研究大会in北海道でのすずらんと協会冊子のダブル制作など、一人では到底できないことを実現できた任期でした。

表紙の写真から始まって裏表紙のコメントに至るまで、いろんな思いが詰まって出来ていますが、今回はその集大成ですね!

藤原 育



私と「すずらん」「広報部」との出会いは、すずらんに入っていた「広報部員募集チラシ」でした。当時はゆとりもあったのと仕事柄何か役に立つかもと思い連絡し、電話口より「今月の封入作業」を手伝ってほしいとの話があり、「何の封入だろう?」と思いながら指定日に支部に伺うと、部長さんや他の広報部員さんがすずらんや他のチラシなどを封入しておりました。見様見真似で作業をし、終了後に挨拶をし帰宅しましたが、そこからふた月ごとのルーティンワークになり皆さんといろんな話が出来、楽しい時間を過ごすことができました。

そんな中、2年後の北海道での全国研究大会開催に向け、支部が一丸となり取り組む時に、広報副部長として抜擢して頂き、今までの職務経験を活しながら、また皆様のお力添えもあり全国研究大会を無事終了することが出来ました。その後、前部長退任の後、広報部長として努めさせて頂いております。

あの時のすずらんがなければ現在の支部活動に参加することはなかったと思います。すずらんに感謝です。

今後、広報部はペーパーレス・デジタル化の現状に倣い、媒体を変え、会員の皆様に有益な情報発信をこれからも継続しながら進んでいきます。今期はまずホームページの改修を行い、スマホでも快適に閲覧、必要情報もアクセスしやすく、また本部HPとの連携も行いながら快適な情報開示を行います。

すずらんに関してはweb媒体での運用を考え、フレキシブルな情報提供媒体に進化させようを考えております。

広報誌としては今回最後になりますが、これからも「すずらん」は会員の皆様に発信し続けます。これからのすずらんにもどうぞご期待ください。

加納 高士



## 自主学習会報告

会員の学びを  
応援します!



CC学習会「ほっかいガンバ」

かなり自由なキャリアコンサルティング自主学習会「ほっかいガンバ」です♪♪♪

『すずらん』100号達成おめでとうございます。

その『すずらん』でも繰り返しアピールさせて頂きました、自主学習会「ほっかいガンバ」のご案内です。

キャリアコンサルティングの実践を目指す当協会会員が、楽しく学び合う自主学習会として、ここ3年以上ZOOM開催を続けてます。月1回の「定例会」(奇数月は平日夜、偶数月は土曜午前)に加え、技能検定実技試験面接に関心のあるメンバーなどでできぐれに「特別会」を開催しています。

なお、出欠もとらず、遅刻も早退も中抜けも自由です。キャリアコン資格を取ったけどまだ実践に出る自信はない人、同資格者のことが気になる人、スーパーバイザーを目指す人、勉強会のハシゴが趣味の人などなど、それぞれの思惑で参加しているみたいです。関心をお持ちの方は、支部事務局にお問い合わせください♪

お気軽にお問い合わせ下さい!

オリジナルのジョブカードをご用意して絶賛開催中!

一般社団法人 日本産業カウンセラー協会 北海道支部ホームページ <http://www.do-counselor.jp/>

## 2023年度(令和5年度) 一般社団法人日本産業カウンセラー協会 北海道支部定時総会を開催致します。

ここ数年のコロナ禍の折、ZOOMにて実施しておりました定時総会ですが、今年は集合形態での開催が決定致しました。

会員の皆様には是非ともご参加の程を宜しくお願い申し上げます。

**開催日時** 2023年6月25日(日) 14:00～16:00(予定)

**開催場所** かでる2・7 520研修室 住所:札幌市中央区北2条西7丁目



### 会員研修

ご注意

最少催行人数を設定いたしましたので、予めご了承ください。なお応募締切日は、催行14日前とさせていただきます。

#### 【会員研修】

##### 心理カウンセリングのかんどころ

5ポイント

資格登録更新対象研修

講師：清水 信介  
日時：2023年8月26日(土) 10:00～16:00(5時間)  
場所：かでる2・7 940研修室  
定員：30名  
受講費用：会員 5,500円(税込) 非会員 8,250円(税込)  
申込締切：2023年8月12日(土)

##### 生活習慣改善のための認知行動療法

3ポイント

資格登録更新対象研修

講師：本谷 亮  
日時：2023年9月10日(日) 13:30～16:30(3時間)  
場所：zoomを利用したオンライン研修  
定員：30名  
受講費用：会員3,300円(税込) 非会員4,950円(税込)  
申込締切：2023年8月27日(日)

##### 大人の発達障がいへの認知行動療法

3ポイント

資格登録更新対象研修

講師：金澤 潤一郎  
日時：2023年10月22日(日) 13:30～16:30(3時間)  
場所：zoomを利用したオンライン研修  
定員：30名  
受講費用：会員3,300円(税込) 非会員4,950円(税込)  
申込締切：2023年10月8日(日)

##### 就労支援のための認知行動療法を 活用した相談支援

3ポイント

～非正規・ビギナー支援員編～

資格登録更新対象研修

講師：金澤 潤一郎  
日時：2023年12月2日(土) 13:30～16:30(3時間)  
場所：zoomを利用したオンライン研修  
定員：30名  
受講費用：会員3,300円(税込) 非会員4,950円(税込)  
申込締切：2023年11月18日(土)

#### 【国家資格キャリアコンサルタント更新講習】

★★全て非会員も受講できます!★★

##### 事例検討と演習で学ぶ ＜中年期以降の転機への支援＞

講習コード：JIC19T12 資格登録更新対象研修

講師：十川 秀逸  
日時：2023年6月11日(日) 10:00～17:00(6時間)  
場所：かでる2・7(札幌市中央区北2条西7丁目)  
定員：20名  
受講費用：会員16,000円 非会員20,000円  
申込締切：5月28日(日)

##### 技能講習・教育機関領域編

講習コード：JIC16T03 資格登録更新対象研修

講師：網野 真一 ほか  
日時：2023年7月15日(土) 10:00～18:00(8時間)  
場所：かでる2・7(札幌市中央区北2条西7丁目)  
定員：18名  
受講費用：会員20,000円 非会員22,000円  
申込締切：7月1日(土)

##### 「女性の組織内キャリア」 (キャリアコンサルティング事例検討・技能講習)

講習コード：JIC17T09 資格登録更新対象研修

講師：十川 秀逸  
日時：2023年8月20日(日) 10:00～17:00(6時間)  
場所：かでる2・7(札幌市中央区北2条西7丁目)  
定員：20名  
受講費用：会員16,000円 非会員20,000円  
申込締切：8月6日(日)

##### 就職支援に活かす

##### 「構成的グループエンカウンター」

講習コード：JIC19T06 資格登録更新対象研修

講師：米倉 美和子  
日時：2023年9月9日(土) 10:00-17:00(6時間)  
場所：かでる2・7(札幌市中央区北2条西7丁目)  
定員：20名  
受講費用：会員16,000円 非会員20,000円  
申込締切：8月26日(土)



# ありがとう 『すずらん』

## 各種研修申込先

(一社)日本産業カウンセラー協会北海道支部  
札幌市中央区北4条西7丁目1番地5  
NCO札幌ホワイトビル3階  
電話：011-209-7000 FAX：011-209-7011



### 振込先

郵便振替 02700-9-1731

(一社)日本産業カウンセラー協会北海道支部

## 広報部員のつがやき

すずらん100号の編集に関する機会をいただき、協会の軌跡について理解が深まりました。私にとって広報誌は、協会に所属していることの証でした。

資格取得後、最初に広報誌が届いた時の嬉しさを今でも覚えています。その感動を忘れず今後も研鑽します。

皆様、今後Webへのアクセスもお願いします!



▲札幌駅南口

(S.Y)